allcinema

カティンの森（2007）

KATYN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ポーランド
色彩 Color
時間 122分
初公開日 2009/12/05
公開情報 アルバトロス
映倫 R15+

【キャッチコピー】
明日を生きていく人のために
そしてあの日　銃身にさらされた
愛する人のために

【解説】
　第二次大戦下、ナチス・ドイツとソ連の両方から侵略され、両国に分割占領されたポーランド。そんな中、ソ連の捕虜となったポーランド人将校のうち１万数千名の行方が不明となり、後にソ連によって虐殺されていたことが判明する。いわゆる“カティンの森事件”と呼ばれるこの悲劇は、ソ連の支配下にあった冷戦時代のポーランドにおいて語ることの許されないタブーとされてきた。本作は、自らの父親もこの事件の犠牲者の１人であるポーランドの巨匠アンジェイ・ワイダ監督が、そんな歴史的犯罪に改めて光を当てるとともに、国家の欺瞞に翻弄される犠牲者家族の苦悩を描き出す入魂の人間ドラマ。
　1939年9月、ポーランドは密約を結んだナチス・ドイツとソ連によって分割占領されてしまう。ソ連側では多くのポーランド人将校が捕虜となり収容所へと送られた。その中にはアンナの夫アンジェイやその友人イェジも含まれていた。一方、ソ連領に取り残されていたアンナと娘ニカは、1940年春にようやく国境越えに成功、アンジェイの両親のもとへと戻る。しかし、そこに義父の姿はなかった。彼はドイツ軍に逮捕され、収容所で命を落としてしまう。アンナは義母と娘と３人でアンジェイの帰りを待ち続ける。そんな中、1943年4月、ドイツ軍はソ連領のカティンで多数のポーランド人将校の遺体を発見したと発表する。その犠牲者リストにアンジェイの名前がなかったことに望みを託し、ひたすら帰りを待ち続けるアンナだったが…。

【クレジット】

監督	アンジェイ・ワイダ	Andrzej Wajda	
製作	ミハウ・クフィェチンスキ	Michal Kwiecinski	
原作	アンジェイ・ムラルチク	Andrzej Mularczyk	『カティンの森』（集英社刊）
脚本	アンジェイ・ワイダ	Andrzej Wajda	
	ヴワディスワフ・パシコフスキ	Wladyslaw Pasikowski	
	プジェミスワフ・ノヴァコフスキ	Przemyslaw Nowakowski	
撮影	パヴェウ・エデルマン	Pawel Edelman	
衣装	マグダレナ・ビェドジツカ	Magdalena Biedrzycka	
編集	ラファウ・リストパト	Rafal Listopad	
音楽	クシシュトフ・ペンデレツキ	Krzysztof Penderecki	
出演	マヤ・オスタシェフスカ	Maja Ostaszewska	アンナ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

アルトゥル・ジミイェフスキ	Artur Zmijewski	アンジェイ
マヤ・コモロフスカ	Maja Komorowska	アンジェイの母
ヴワディスワフ・コヴァルスキ	Wladyslaw Kowalski	アンジェイの父　ヤン教授
アンジェイ・ヒラ	Andrzej Chyra	イェジ
ダヌタ・ステンカ	Danuta Stenka	大将夫人ルジャ
ヤン・エングレルト	Jan Englert	大将
アグニェシュカ・グリンスカ	Agnieszka Glinska	イレナ
マグダレナ・チェレツカ	Magdalena Cielecka	アグニェシュカ
パヴェウ・マワシンスキ	Pawel Malaszynski	ピョトル
アグニェシュカ・カヴョルスカ	Agnieszka Kawiorska	エヴァ
アントニ・パヴリツキ	Antoni Pawlicki	タデウシュ（トゥル）
クリスティナ・ザフファトヴィチ	Krystyna Zachwatowicz	グレタ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.